

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和4年度一般廃棄物最終処分場公害防止協議会
開催日時	令和5年 2月 16日(木) 午前10時開会 午前10時30分閉会
場所	真野行政サービスセンター 大会議室
議題	(1) 浸出水の処理状況について (2) 放流水及び地下水の水質検査結果について (3) 第2期最終覆土工事について (4) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	参加者 地元住民代表 6名 (一財)新潟県環境衛生研究所 佐渡検査センター長 安藤 由花 学識経験者 真野行政サービスセンター センター長 鶴間 克己 事務局 生活環境課 課長(座長) 粕谷 直毅 真野行政サービスセンター 次長 菊地 貞一 生活環境課施設管理係 係長 佐藤 大吾 生活環境課施設管理係 主任 本間 秀夫 生活環境課施設管理係 主任 高橋 豊
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要(発言の要旨)

発言者	議題・発言・結果等
-----	-----------

<p>粕谷課長</p>	<p>開会の挨拶</p>									
<p>高橋主任</p>	<p>(1) 浸出水の処理状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度浸出水の処理状況について、資料1ページにより説明する。 ・年間運転水量 3,884 m³、年間放流水量 3,617 m³となっている。 ・計器不具合により令和3年末12月の処理水を令和4年に繰り越したため、年間処理水量に偏りが生じているが、2年間の平均値は例年並みである。 									
<p>高橋主任</p>	<p>(2) 放流水及び地下水の水質検査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採水場所について、資料2ページ、令和4年度放流水及び地下水の水質検査結果について、資料3から8ページにより説明する。 ・令和4年度ダイオキシン類測定結果について… (単位: pg-TEQ/L) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>地下水 上流</td> <td>5月 0.015</td> <td>11月 0.0078 (基準値 1)</td> </tr> <tr> <td>地下水 下流</td> <td>5月 0.012</td> <td>11月 0.095 (基準値 1)</td> </tr> <tr> <td>放流水</td> <td>5月 0.00050</td> <td>11月 0.0041 (基準値 10)</td> </tr> </table> <p>と基準値に対し低い数値であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水 上流・下流の25項目、放流水の39項目の年2回(5月、10月)精密項目検査結果は、全ての項目で基準値を下回っていた。 ・基本項目水質検査は、年10回あり放流水は、国の基準値、公害防止協議会の基準値ともに満たしている。地下水 上流、下流については国の基準値が設けられてないが放流水の基準値と比較しても問題がないと考える。 ・年5回の原水検査結果において、塩化物イオンの過去3年間の推移では、最高値、最低値が260~81mg/lで平均150mg/lとなっており、公害防止協議会の基準値である500mg/lを下回っている。 	地下水 上流	5月 0.015	11月 0.0078 (基準値 1)	地下水 下流	5月 0.012	11月 0.095 (基準値 1)	放流水	5月 0.00050	11月 0.0041 (基準値 10)
地下水 上流	5月 0.015	11月 0.0078 (基準値 1)								
地下水 下流	5月 0.012	11月 0.095 (基準値 1)								
放流水	5月 0.00050	11月 0.0041 (基準値 10)								
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季養生期間というのは、どうなのか。 									
<p>高橋主任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月中旬から3月中旬を冬季養生の期間としている。配管、ポンプ類の凍結防止のため、水処理に関連する設備は全停止し、水処理に関連しない一部の機器は機能保全が必要で運転している。水質検査については、水処理をしてないことから冬季養生期間は、検査をしていない。 									
<p>参加者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設までの林道をもう少し整備した方がよいのではないかと。 									
<p>高橋主任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の積雪による倒木等で、経塚山線が通行できなくなり東北電力 									

参加者	<p>(株) に停電の復旧を願ったが、1月22日頃まで時間を要した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電になった場合発電機等はどうなるのか。
高橋主任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家発電はないが、冬季養生中でもあり一時的な停電は問題ない。
粕谷課長	<p>以上により、(1)、(2)の市の報告は了承されたものとする。</p>
高橋主任	<p>(3) 第2期最終覆土工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期最終覆土工事について、資料9ページにより説明する。 ・ 令和4年6月30日から令和4年12月16日までの工期で真野建設興業株式会社により、真野クリーンパーク第2期最終覆土工事を完了した。工事費は37,357,100円である。 ・ 竣工写真の白い部分は、ドローン撮影時に植栽用の種子散布した際の展着剤等の影響で乱反射したものによる。 ・ 覆土工事の完了について、県へ埋立終了届を提出する。覆土工事後2、3年間は水質、発生ガス検査を継続し、覆土後の状態が安定していることを確認して、県へ廃止確認願届を提出し、県の審査を受け問題等なければ、廃止確認通知を受ける。 ・ 廃止以降の最終処分場の管理は、処分場の原水を汲み上げ放流する管理、堰堤の維持管理(樹木等伐採)がある見込み。県に確認しながら進めていく。
粕谷課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 覆土工事は完了したが2～3年は、水質、発生ガス検査の経過観察を行い、その後県への手続きを経た後、廃止に向け進める。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃止になると、水処理はしないということか。
高橋主任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県からの廃止確認通知を受けた場合は、水処理や水質検査は不要になる。2、3年間で水質が安定すると言われている。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8ページ原水の塩化物イオンが流れ出すということか。
高橋主任	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原水を汲み上げ放流するが、一般的には、水質が2、3年で安定すると言われている。塩化物イオンの数値も一定程度まで下がり安定すると考えてる。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 覆土したから雨水も入らなくなるから放流水なども出ないということか。

高橋主任	<ul style="list-style-type: none"> 第1期覆土工事では、覆土材の浸透率は、20%。第2期は、雨水が浸透しやすい覆土材を使用しているため雨水は貯まる。酸素に触れた部分が安定するまで2、3年経過観察をする。水質、発生ガスの検査をしながら様子を見る。塩化物イオンも安定すると思われる。
粕谷課長	<ul style="list-style-type: none"> このあと経過観察の結果を公害防止協議会の中で伝える。以上により、(3)の市の報告は了承されたものとする。
粕谷課長	(4) その他について意見を伺う
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 水処理施設の設備は大丈夫か。
高橋主任	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年から稼働した施設。機材、ろ過材等必要に応じて定期的に交換している。プラント水処理設備については問題ない。
粕谷課長	議題を終了する。
	閉会